

編集後記

本来であれば、本誌がお手元に届く頃には日本中が東京オリンピックの熱狂に包まれ、大いに盛り上がっていたことでしょう。新型コロナウイルスの完全な収束が見えてこない以上、今後は従来の社会生活のスタイルを根本から考え直さなければならない必要に迫られています。学会も講演会も、会議もお喋りも web を利用したものばかりとなり、味気ないことこの上ないですが、多くの方が指摘されているように web による情報の発信と受け入れにはそれなりのメリットがあることも確かです。ただし、世間は既に 'with コロナ時代' におけるライフスタイルへの変換を模索し始めているようですが、個人的には世界中の英知を結集して 'no more コロナ' を合い言葉に、いつの日か 'without コロナの時代' に戻ることを切に願っています。

今月号の特集は網膜色素変性の治療です。効果の程はさておき、長らくアダプチノールの内服くらいしか存在しなかった本症の治療ですが、遺伝子治療、再生

医療、人工網膜、そして遺伝子治療の中でも網膜神経節細胞に光刺激による脱分極を生じさせて視覚を獲得させようというオプトジェネティクスなど、さまざまなトライアルが進んでいることが理解できます。辻川先生の章の最後の引用にあるように、網膜色素変性の患者さんに対して我々眼科医は、診察のたびに検査結果を確認しながら、ついつい「変わらないですね」「問題ないですよ」とコメントすることが最大の励ましになっているかのような錯覚を持ちがちです。しかし、患者さん側にしてみれば必ずしもそうではないという認識を持っておく必要があること、また臨床医として最新の治療法の動向と情勢を把握し、正しい情報提供とともに希望を持っていただくことが大切であることを改めて感じ入った次第です。

今年の秋以降、世の中はどうなっているのか非常に気になるところですが、皆さまにおかれましては油断することなく、引き続き感染予防にご留意ください。
(後藤 浩・記)

編集：富田剛司・坪田一男・後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸

「眼 科」 第62巻 第7号 7月号

2020年7月5日発行（毎月1回5日発行）

定価（本体2,800円＋税）

年間講読料金 定価（本体42,100円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。